

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度 第 3 回和泉市健康増進計画・食育推進計画検討委員会
開催日時	令和 6 年 9 月 25 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
開催場所	和泉市役所 3 階 3AB 会議室
出席者 （敬称略）	【委員】 内藤委員長、永田副委員長、上嶋委員、沖田委員、西川委員、早崎委員、橋本委員、前田委員、廣田委員、田中委員、藤原委員 【事務局】 吉田副市長、子育て健康部：藤原部長 健康づくり推進室：高橋室長、藤原健康増進担当課長、出口総括主幹、川上総括主査、松本総括主査 受託事業者（三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング）：善積、草薙
会議の議題	和泉市健康増進計画・食育推進計画策定に関すること
会議の要旨	1. 開会 2. 議事 （1）前回の振り返り （2）アンケート結果の報告、課題整理について （3）「第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画」（案） ① 第 1 章～第 5 章の修正 ② 第 6 章 健康づくり・食育推進に係る具体的な施策 ③ 第 7 章 市民の地域・団体が主体的に取り組む健康づくり・食育推進 ④ 第 8 章 計画推進体制・計画の PDCA （4）その他 3. 閉会
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の 確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必要 事項（会議の 公開・非公開、 傍聴人数等）	公開 傍聴人 0 名
審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	

1. 開会

2. 議事

(1) 前回の振り返り

事務局

前回の振り返り（資料 1）を説明。

内藤委員長

質問がなければ、次の議事へすすむ。

(2) アンケート結果の報告、課題整理について

事務局

和泉市健康づくり・食育推進に関するアンケート調査結果報告書（案）（資料 2）を説明。

委員長

クロス集計は非常に重要だが、生理学的な関係など一般的な関係性をみるというよりは、和泉市の中で今後どのような人に対して重点的に対策を進めるのかという対象が浮かび上がってくるのであれば有意義だと考える。年代別や他の要因についても分析ができるとよい。

また、考察でも箇条書きで取りまとめがされているが、総括して結論的な課題が見えてくると考えるため、そのような点をまとめられると良いと考える。

副委員長

P. 84 の図表 155 について、どのように結果を見ればいいのか分かりにくい。

事務局

縦軸が幸せかどうかを判断する際に重視する項目、横軸が健康状態になっている。クロス集計のため因果関係というよりは関連性を示している。

委員長

関連性はあるが、因果関係までは述べるのが難しいため、関連性がはっきりと回答可能なもののみ掲載の方がよい。

委員

小中学生の結果について学校現場にどのように結果を返すのか。結果をたくさん示しても市民は見ないため、どの項目を分かりやすく伝えるのか、表記するのかというのは今後の検討内容になるか。

事務局

どのようにフィードバックするかは庁内の関係課と調整をする予定である。

委員

教育という面でも有効活用できると考える。

委員長

学校教育の中で、市民として健康調査をしていることを共有すれば、将来的に健康に対しての意

識が高い市民が増えるのではないか。

委員

現在の課題としていることが浮き彫りになっており、根拠となりうる資料だと考える。引き続き取り組んでいきたいと考える。

(3)「第4次健康都市いずみ21・食育推進計画」(案)

事務局

第4次健康都市いずみ21・食育推進計画第1章～第5章の修正(資料3)を説明。

委員長

構成について意見、質問はあるか。

副委員長

第5章の基本的な考え方の基本理念の部分は、身体的・精神的・社会的にも満たされた状態、ではなく、健康な状態という定義が正しい。

P.70～71のロジックモデルの並び順は一般的ではないと感じる。また、不幸と感じている人がどのような要素で不幸と感じているのか、健康ではないと感じている人も同様に気になる。

委員長

ロジックモデルの並び順については再検討いただきたい。ウェルビーイングの定義は難しい。健康とは、身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな状態と定義される場合もある。市民が読んでも分かりやすいように表現を工夫いただきたい。

副委員長

P.71の初期アウトカムについて、睡眠時間が長いほど健康に良いわけではないため、質・量ともに「十分」な睡眠ではなく、「適切な」とした方がよい。

事務局

クロス集計の表に関しては、重視する項目を導きやすいように整理したい。

委員長

クロス集計の結果はデータとして参考にしてよいが、世の中で一般的とされている他のデータも意識して判断しなければならない。全体的な計画の目標を考える上で、市民の現状として一部を参考にしつつも、過度に横断研究の結果を政策の話にもっていかない方がいい。

アンケート結果は関心を持ってもらうための一つの材料として活用する程度がよい。結果を軽く紹介してあるべき姿を見せる程度で、バランスを考えて活用することが望ましい。

事務局

健康状態が「よくない」と回答したのは25件と少ないため、要因分析は難しい。「よい」の回答はサンプル数がある程度まとまっているので、こちらで傾向を見ていただきたい。

委員長

世の中で一般的に言われているデータの確認として使用する程度がよい。

委員

P. 49 の野菜摂取のデータについて、3 食とも食べていないという意味か。毎食全てはたべていないという意味か。また、P. 65 ブックマークが定義されていないとなっている。和泉市としての食育の定義を掘り下げて記載するのはいいと思う。

委員長

ブックマークはケアレスミスである。
食育についての整理はこれでよろしいか。

委員

和泉市としての食育をもう少し考えて掘り下げてまとめることはよい考えである。

委員長

食育には歴史があり、引き継いでいかなければならない。

委員

学年表示が P. 30、31 の学年表記は揃えた方がいい。P. 34 (ha) のかっこが片方消えている。P. 35 ヘルスアップサポーターの活動の場について、減った理由はコロナが背景にあると考える。読み手に伝わるよう追記いただきたい。P. 54 (11) について、健康に基づくようなクロス集計がないため、「地域や地域資源との関わり」のように題名を変えた方がいい。P. 58 図の文字が重なっている。P. 85 の図の一部文字が消えている。P. 81 のライフステージのカテゴリーについて、高齢期がとても長いことは気になる。医療のように、前期・後期で分けてそれぞれの特徴や取組について記載してもらえるとよい。

委員長

丁寧に確認いただいた。公表した時に内容が良くてもケアレスミスで残念な形にならないよう、細かな修正についても対応いただきたい。人生 100 年時代であるため、65 歳以上をひとくくりは難しい。計画は 12 年続くため、可能であれば高齢期は分けたほうがよい。納得が得られるよう高齢期の区分などを盛り込むなど修正が必要と思われる。

委員

P. 31 の痩身傾向児のグラフは単年度になっているため、経年のデータがあるとよい。

事務局

経年のデータを把握するのは難しい。

委員長

コロナによる影響が疾病統計にもあると考えるため、社会的に大きな要因が起こった際の進め方について、コラムのような形で取組方針などを記載しても良いと考える。健康づくりに水を差すような出来事があった際もしっかりと対応することを示せるとよい。

委員

P. 66 の基本方針について、和泉市は大阪府を上回っているものが多いことが分かった。和泉市は子育てしやすい地域という評判だが、例えば通勤時間が長いなどで健康習慣・運動習慣を持っていないなど、和泉市特有の背景を絡めて対応策を考えられれば、別の視点で取組が考えられるのではないかと考えた。

副委員長

それは大阪府全体の特徴であり和泉市だけではない。和泉市の特徴としては喫煙率が高いということ。子育て世代のストレスが高いというのはいくら公共が頑張っても仕方がないところもある。

委員

ウェルビーイングについて、仕事柄考えることが多いが、ちょうどよい、その人らしくということもあると考える。睡眠が短くても健康な人もいる。自分にとっていい状態、心地よい状態は個々で異なるため、みんなが考えていくという考えのもとでウェルビーイングという言葉を使っていけるとよい。

委員長

3つのスローガン案から選定したい。順番に読み上げるため、挙手をお願いしたい。

(案①4票、案②0票、案③6票)

多数決の結果、案③市民一人ひとりが実現する ウェルビーイングのまちいずみに決定してよいのか。

副委員長

知らない人からとするとウェルビーイングが何か分からない。案③の実現する、という表現だと伝わりにくいのではないかと考え、案①に投票した。

副市長

永田委員の意見を補足する形になるが、ウェルビーイングの専門的な議論の中では、実現や満足といったような表現は使用しない。専門家の中では、最大化や追求するという表現を使用されるため、ウェルビーイングと実現するという言葉に親和性がない。

委員長

「実現する」の動詞を変えるのはどうか。

副委員長

「目指す」などはどうか。

委員長

動詞について事務局の方で提案いただきたい。他にご意見はあるか。

「取り組む」など、類義語から検討いただきたい。

委員

「市民」は必要か。一人ひとりを強調するのであれば、「市民」は無くてもいいと考える。

事務局

基本理念の書きぶりが異なってくると考えるため、それを踏まえて、次回検討委員会で改めてスローガン案を提示させていただく。

委員長

他にもご意見はないか。

事務局

P. 54, 55 について、地域における活動状況と健康状態、幸福度についてクロス集計をとり、結果を確認する。それが基本方針3につながると考え、題名はそのままとしたい。

委員長

そのようにまとめるとよりわかりやすくなると考える。

一般的な生活習慣や健康課題に関しての解決法、弱さに対する課題があるが、地域において実現する地域活動が非常に重要であることは理論的にも明らかであり、ぜひ形として見ることもできるように整理いただきたい。

本日いただいた意見は、事務局、副委員長と共に精査し次回お示ししたい。

副委員長

ウェルビーイングの社会的な、という部分は難しいと考えるため、ボランティア活動などの社会的参加についても浮かび上がらせておく方が分かりやすいと考える。

委員長

健康状態は環境に左右されることが分かってきているが、それぞれが個々で考える健康づくりと、行政が考える健康づくりを上手くマッチさせて検討できるとよい。

事務局

第4次健康都市いずみ21・食育推進計画第6章～第8章（資料3）を説明。

委員長

推進体制について、毎年チェックを行うのはいいが、具体的にどのように確認を行うかはある程度決められているのか。

事務局

第6章で行政が取り組む施策を記載予定であるが、行政の取組については1年ごとの達成度を評価するための指標を立てる予定をしており、進捗管理できる仕組みを考えている。

委員長

コロナなど、危機的な状況が起こった際にどのような対応をとるのか、別のシナリオを作っておく必要があると考えるが、どのように考えられているか。PDCAサイクルは長期的な状況の変化には適しているが、危機的な状況への対応は弱い点もある。危機対応について検討しておく必要もある。

事務局

日常的な生活を脅かす災害等が起こった際の対応については、市の防災計画において、健康を含めた対応について明記されているため、そのような計画について計画内で言及するのが良いと考えている。

委員長

コロナ禍でも可能な運動についての情報発信などを行っている自治体もあった。

災害時でも最低限の健康管理ができるような準備をしておく、よりよいものができるのではないかな。

委員

第7章の団体は、具体的にどのような団体を想定されているか。

事務局

関係機関や自治組織、民間団体を想定している。学校や保健所、三師会など、検討委員会に参加

いただいている委員の皆さんが所属されている各団体も想定している。

委員長

次回の委員会では計画書の最終的な案を提示し、委員の皆様にご意見をいただく。

(4) その他

事務局

意見提出用紙（資料 5）を説明。

3. 閉会

事務局

次回、第 4 回検討委員会の日程は、10 月 24 日（木）13:30～市役所本館 3 階にて予定している。

開催日が近づいたら改めてご連絡させていただく。

最後に吉田副市長より閉会の挨拶をさせていただく。

吉田副市長

本日もありがとうございました。たくさんの鋭いご指摘をいただけた。最後に本日の総括をさせていただきます。

まず P. 84 の表の意味についてご質問いただいたが、帯グラフの形で X 軸の健康度を変えていく方が分かりやすいと考える。また、策定方針について和泉市独自の考えが記載されていないので、記載したい。

また、アンケート結果の返し方について、最初から検討できていなかったため、アンケート結果の還元はお約束させていただき、返し方について検討させていただく。

不健康や不幸な人について回答者数が少ないため要因分析は難しいが、一度検討してみる。また、和泉市は往々にして利点にしか着目しないところがあり、マイナス面についても分析が必要と考える。

ウェルビーイングを最大化していくためには、何が課題になっているのか分析が必要である。ある程度はウェルビーイングが深まるが、それ以上は難しく、美点凝視のみのマネジメントの限界であるとする。今後はマイナス面についてもしっかりと課題設定をし、心がけていきたい。

社会環境と地域活動とウェルビーイングの関係については、極めて重要な問題であるが、アンケート結果のみでは分析が難しいため、色々な研究結果も踏まえて検討する。

データの取り扱いについて、関連性なのか、因果関係なのか、参考値なのか意味付けをしっかりと記載する。また、図表のすぐ下に行政としての分析を記入することを心がけたい。また、ケアレスミスについてもご指摘いただいたが、反省し、緊張感をもって取り組みたい。

また、推進体制とタイミングについても今朝打ち合わせをしており、具体的な内容について検討できていなかったため、毎年の振り返り等について検討したい。

また、地域・団体の定義についても、曖昧なためしっかり定義したい。

最後に、女性の保護、健康について、市の重点的な取組としていきたいと考えており、行政としての公助のあり方を検討したい。女性の方々が自らの意思で元気に生活するためにサポートしていきけるような、皆で支えていく施策が少ないため、具体的な施策に力を入れて書いていきたい。

本日皆さまからいただいた意見の一つ一つを真摯に受け止め新しい計画づくりに邁進していきたい。引き続きご指導ご支援賜りますようよろしくお願いしたい。

以上をもって挨拶とする。